

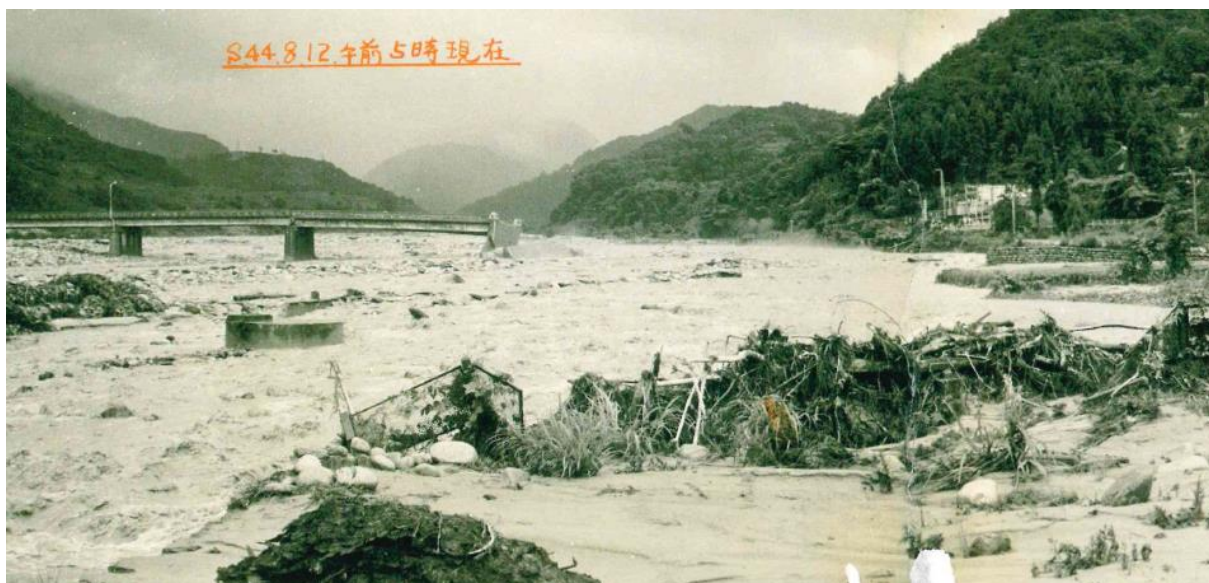
◆昭和44年8月豪雨（44災）

昭和44年(1969)8月、集中豪雨が富山県を襲いました。県内の多くの河川がはん濫、特に県東部に大きな被害をもたらしました。

8日夜から9日未明頃に降り始めた雨は、滑川市では11日までの総雨量が598mm、特に11日午前8時から正午までの間に180mm、正午から午後2時までの間に68mmの降雨がありました。滑川市は、災害救助対策本部を設置しましたが、水量が急激に増加した早月川、上市川などが決壊し、死者1名、行方不明者1名、半壊家屋24軒、床上浸水665軒、床下浸水1,129軒、被害総額11億円超の被害が出ました。

この「44災」では、上市川をはじめとした中小河川のはん濫が大きな被害をもたらしたことから、その後の整備が進められる直接的なきっかけとなった災害だったともいえます。

なめりかわ～災害の記憶～より 一部修正して転載



入会橋付近（下流側から近景）なめりかわ～災害の記憶～より転載